

第3回宮津市庁舎基本構想等検討委員会 次 第

日時 令和6年3月6日(水)
19時～

場所 福祉教育総合プラザ
第1コミュニティルーム

1 開 会

2 報 告

(1) 宮津市庁舎整備に向けての市民アンケート結果について

資料①：アンケート結果報告書

(2) 島崎・浜町ウォーターフロントエリア民間資金等活用事業可能性調査の結果について

資料②：調査の結果と今後の進め方

3 協議・検討

(1) 提言内容の検討

- ・ 基本的コンセプト
- ・ 整備プラン
- ・ その他提言すべき事項

(2) 提言内容のまとめ

4 今後の予定

5 閉 会

宮津市庁舎整備に向けての 市民アンケート調査報告書

1 調査の名称

宮津市庁舎整備に向けての市民アンケート

2 調査の目的

本委員会において検討している宮津市庁舎整備に向けた3つの整備プランについて、基本的方向を定めるにあたっての参考とするため、広く宮津市民の意見を聞くもの

3 調査対象

対象：市民

4 調査方法

インターネット及び紙アンケートによる回答

(令和5年12月20日各戸配布、市公式ホームページ、みやづ情報メール、市公式LINE、市公式Facebookにおいて告知)

5 調査期間

令和5年12月20日(水)～令和6年1月19日(金)

6 調査事項

- ・庁舎整備にあたっての基本的コンセプトに対するその他の意見
- ・候補とした3つの市庁舎整備プランの中から最善のものを1つ選択するもの

7 回答者数 623回答

令和6年2月

宮津市庁舎基本構想等検討委員会

目 次

●回答の状況	1
●Q 1 基本コンセプトについて	2
●Q 2 市庁舎整備プランについて	4
■巻末資料	6
・各設問回答結果表	6
・自由記述	8
・アンケート調査票	21
・アンケート告知各戸配布	24

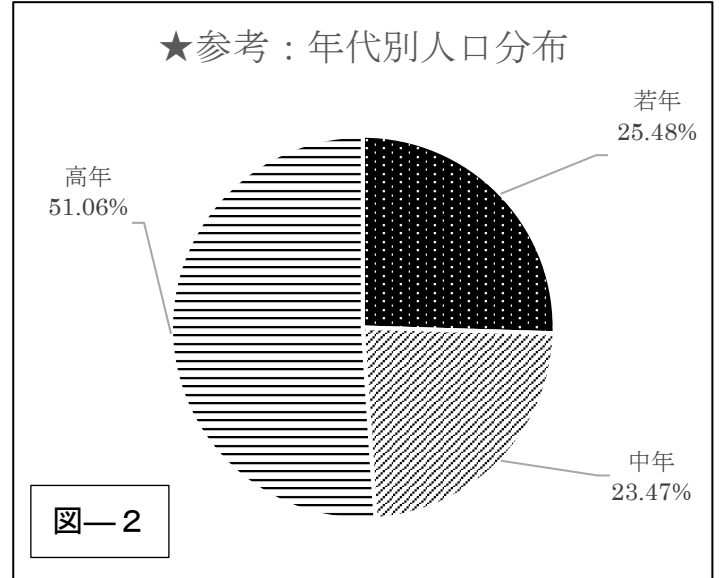
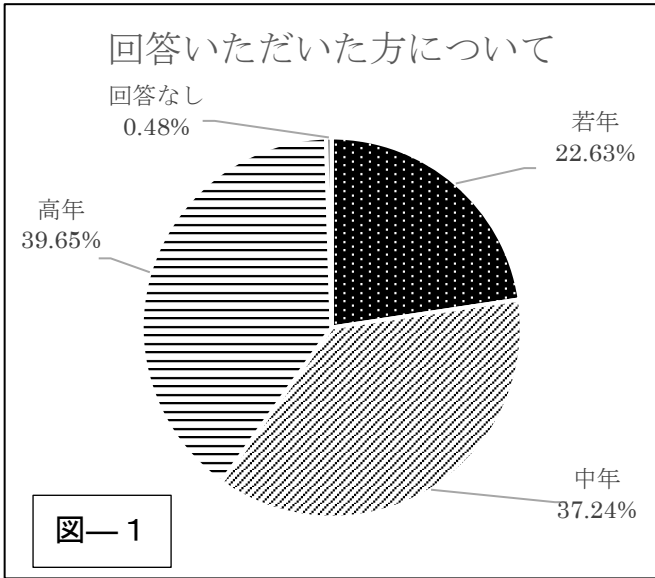
回答の状況

ア 回答総数 623回答

イ 年代

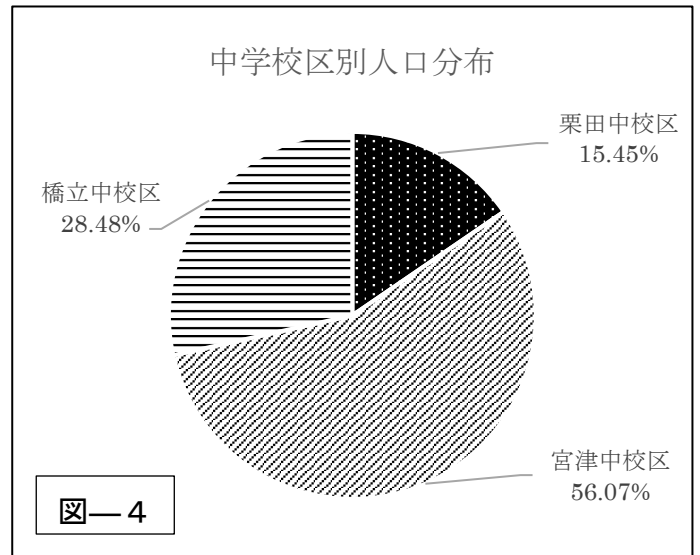
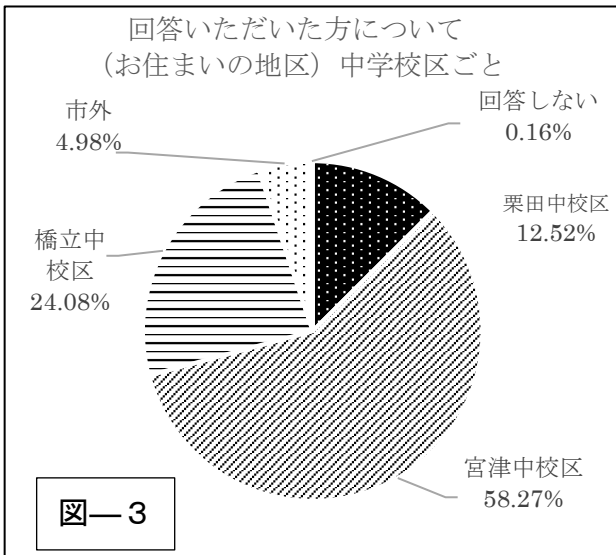
若年（～30代）22.63%、中年（40～50代）37.24%、高年（60代～）39.65%であった（図-1）

市の年代別人口分布（図-2）に比べ、中年世代の割合が高く、高年世代の割合が低い。



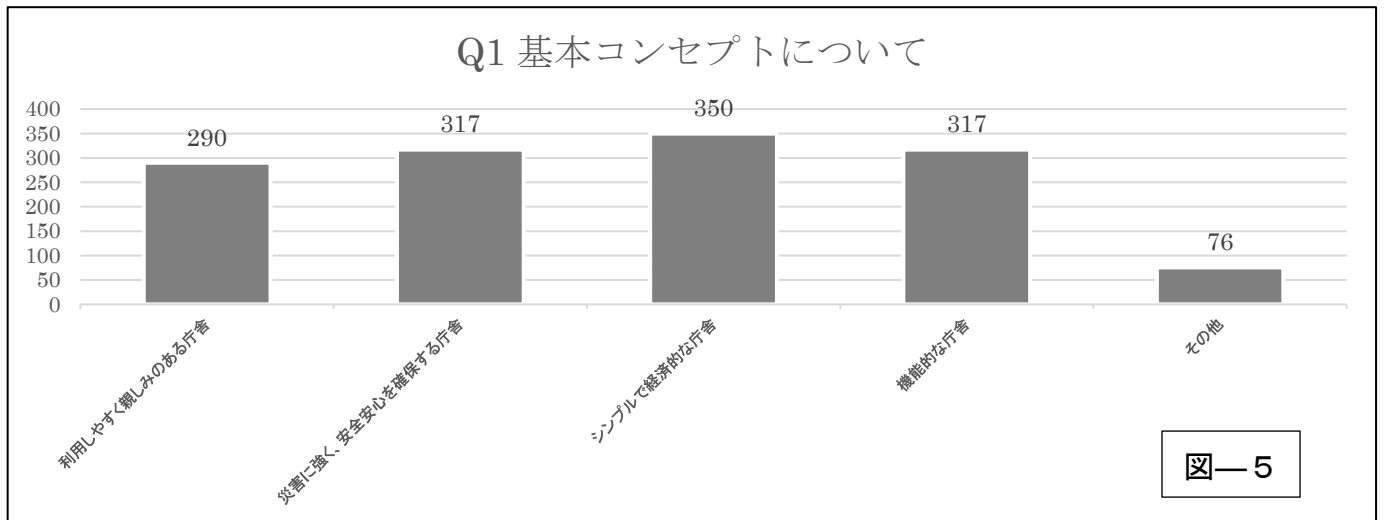
ウ 居住地区

栗田中学校区 12.52%、宮津中学校区 58.27%、橋立中学校区 24.08%であった。（図-3）
市中学校区別人口分布（図-4）とほぼ同様の割合であった。



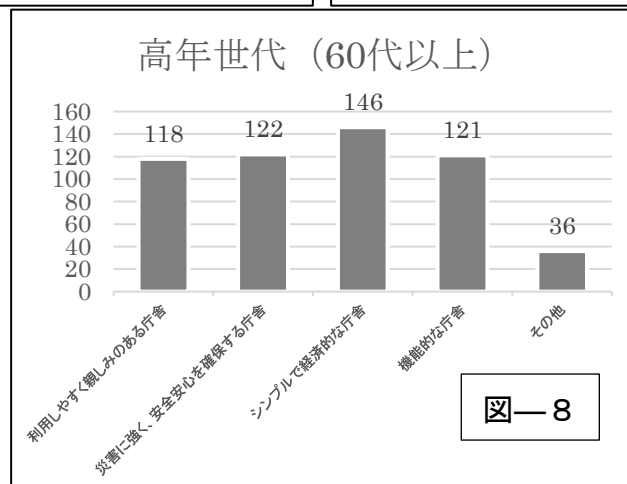
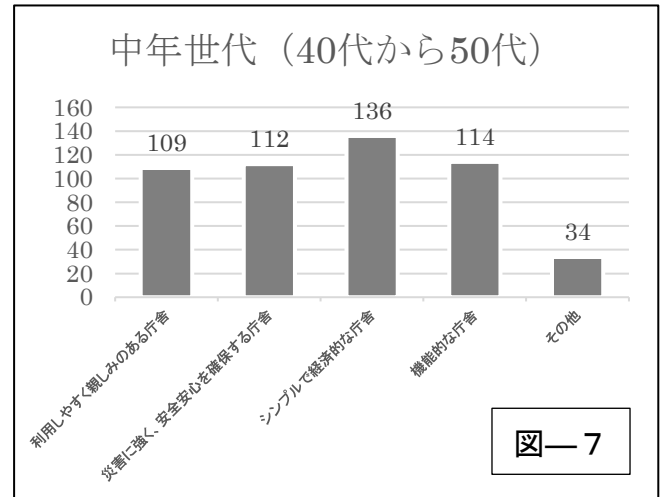
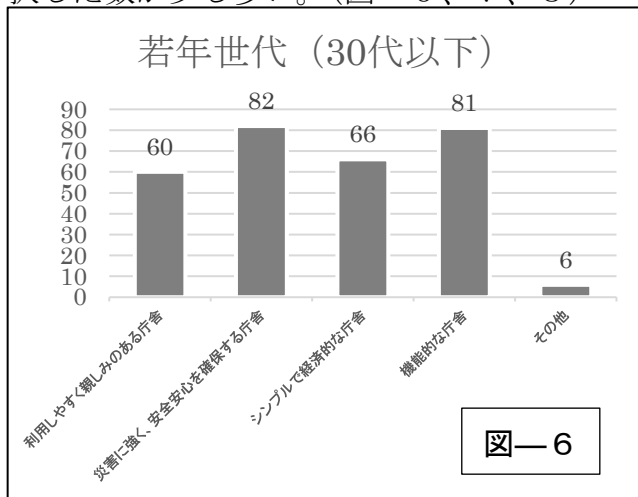
Q1 基本コンセプトについて

- ・基本コンセプト（庁舎整備の考え方）について、尋ねたところ、「シンプルで経済的な庁舎」（350件）、「災害に強く、安全安心を確保する庁舎」「機能的な庁舎」（317件）、「利用しやすく親しみのある庁舎」（290件）「その他」（76件）という順であった。（図—5）
- ・「シンプルで経済的な庁舎」を選択した数が若干多い。



【年代別回答】

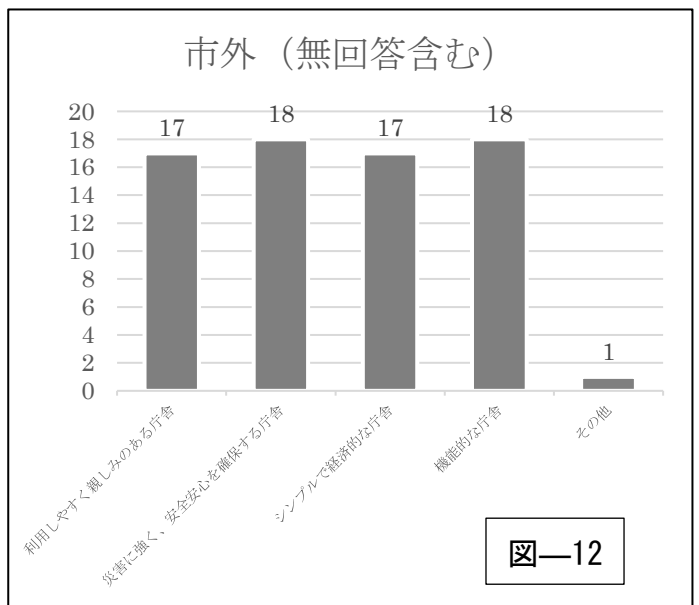
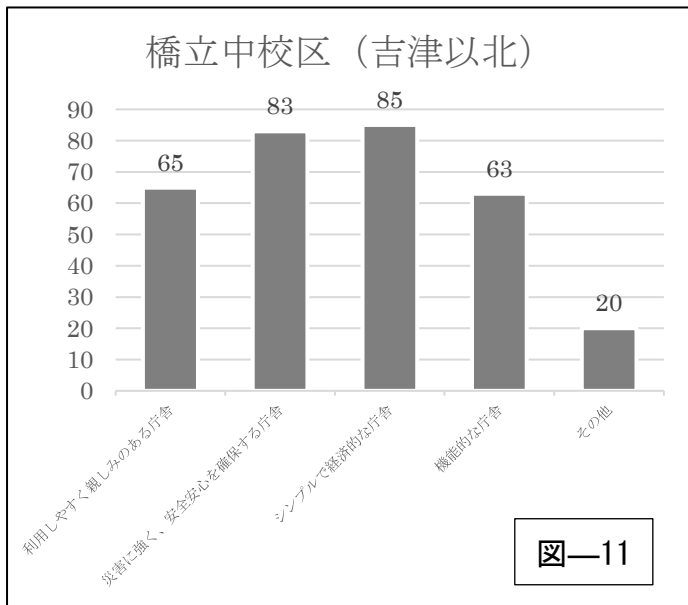
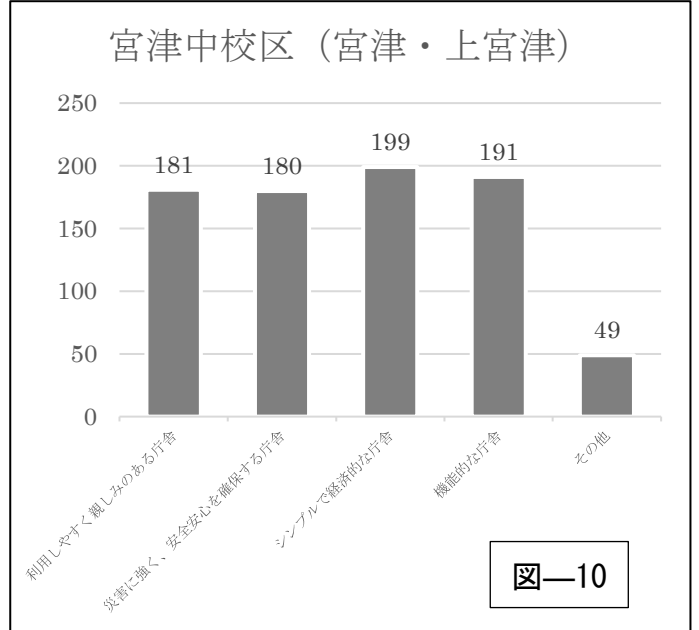
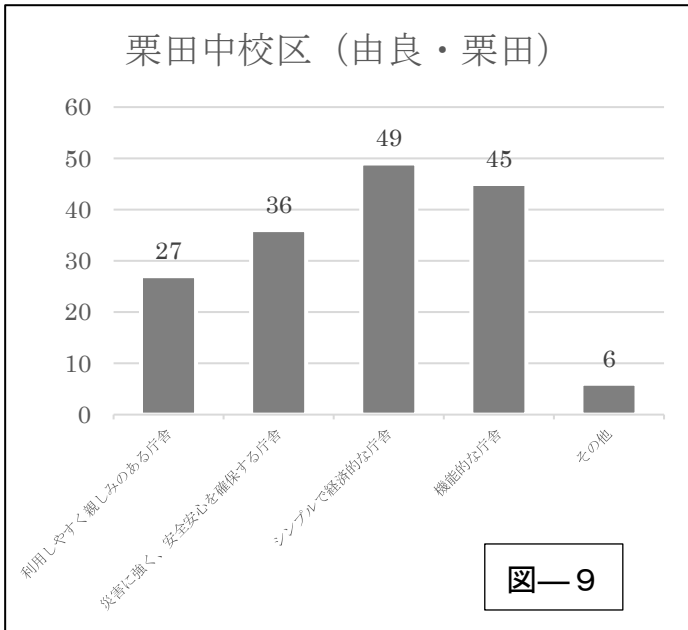
- ・年代別に見ると、若年世代では「災害に強く、安全安心を確保する庁舎」「機能的な庁舎」を選択した数が少し多く、中年世代、高年世代では「シンプルで経済的な庁舎」を選択した数が少し多い。（図—6、7、8）



【居住地別回答】

- ・居住地別に見ると、栗田中学校区では、「シンプルで経済的な庁舎」「機能的な庁舎」を選択した数が少し多い。
- ・宮津中学校区では「シンプルで経済的な庁舎」「機能的な庁舎」を選択した数が他の項目より若干多い。
- ・橋立中学校区では「災害に強く、安全安心を確保する庁舎」「シンプルで経済的な庁舎」を選択した数が少し多い。
- ・市外（無回答含む）居住者は、4つの選択肢をほぼ均等に選択している。

(図9、10、11、12)



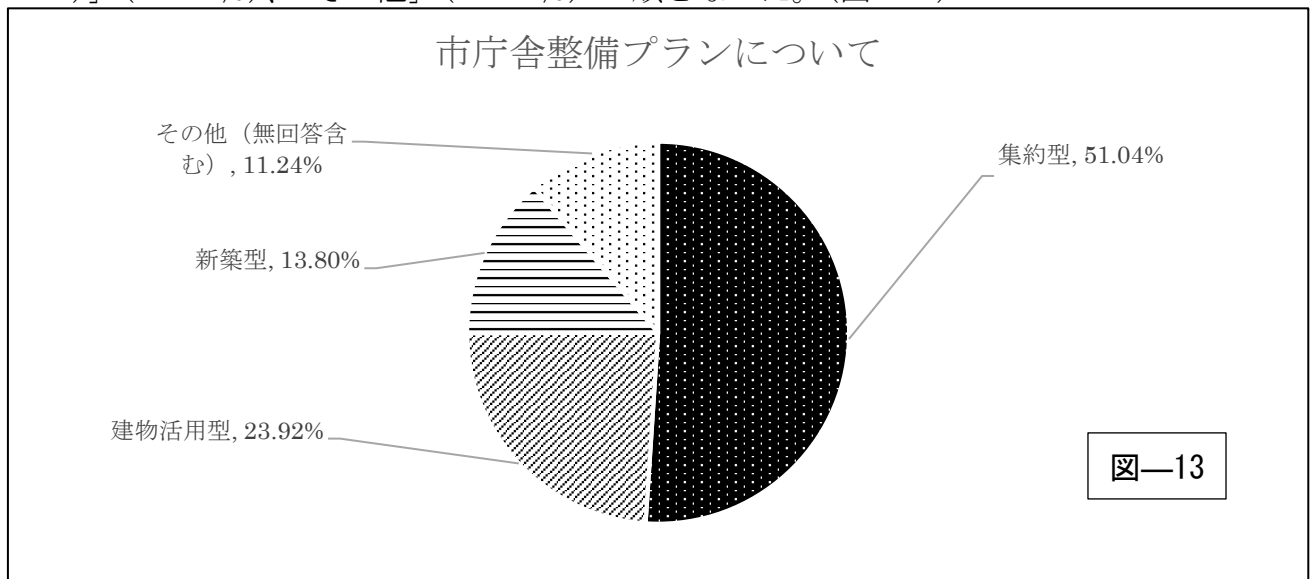
Q1 その他 (9.29%) 【自由記述】 の意見

- ・市財政状況、整備費用に関する意見等：15件
- ・整備内容に関する意見等：21件
- ・その他意見等：40件

※自由記述の原文は巻末に記載

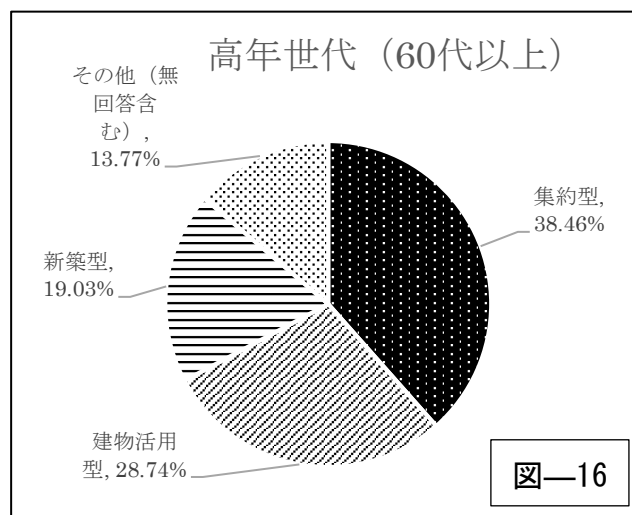
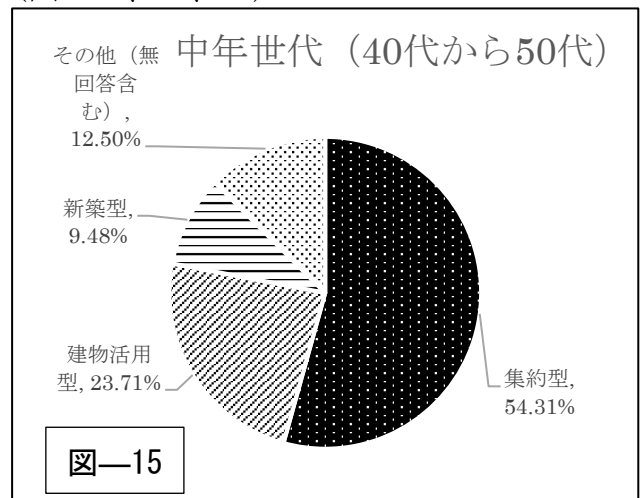
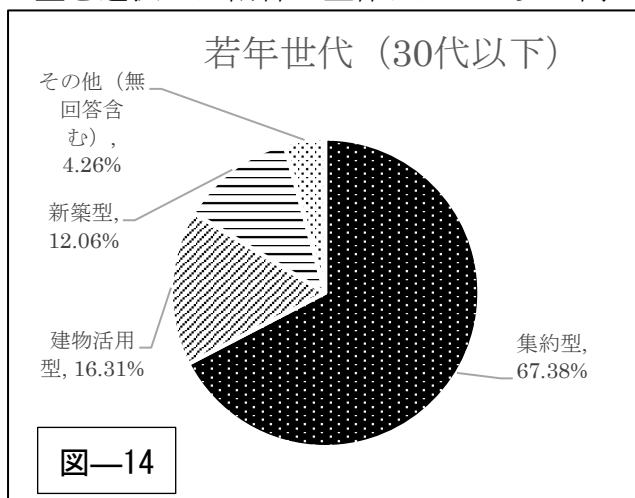
Q2 市庁舎整備プランについて

基本的な市庁舎整備プランの候補として、集約型、建物活用品、新築型の3プランについて尋ねたところ、「集約型（ミップルビル集約プラン）」（51.04%）、「建物活用品（みやづ歴史の館リノベーションプラン）」（23.92%）、「新築型（島崎エリア本館新築プラン）」（13.80%）、「その他」（11.24%）の順となった。（図—13）



【年代別回答】

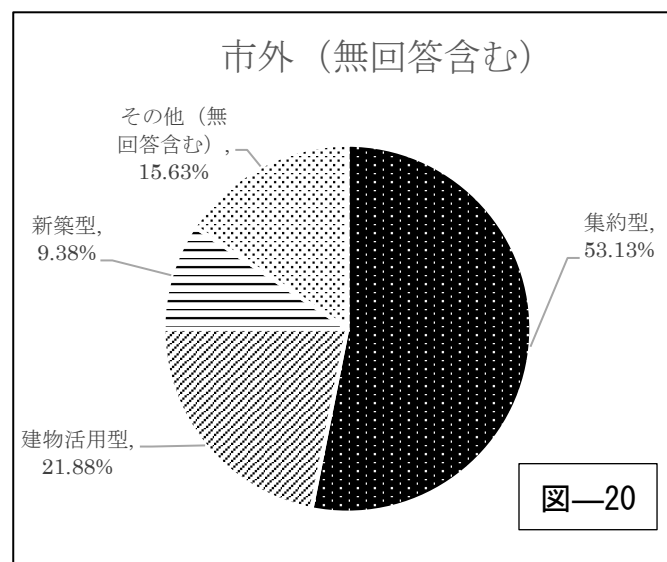
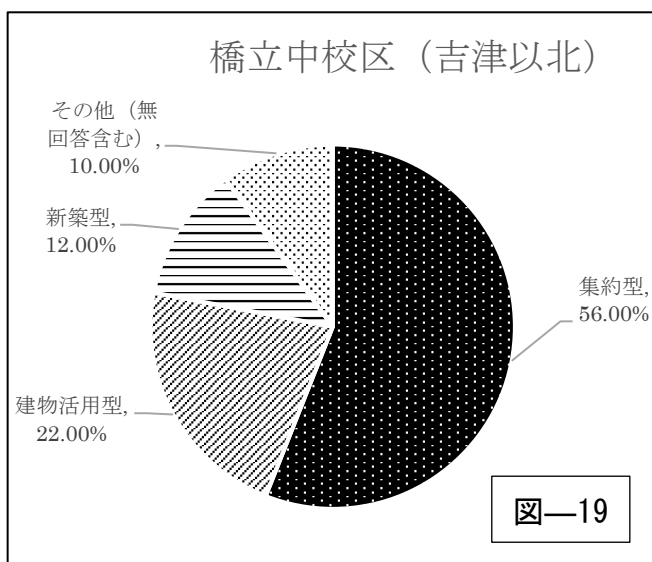
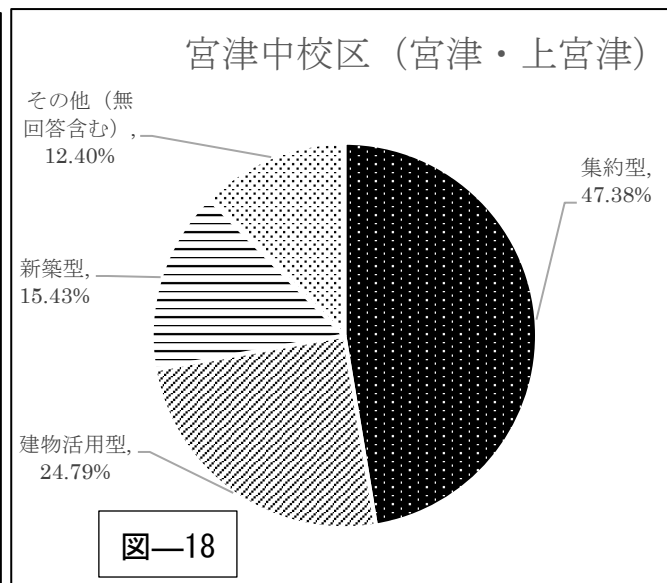
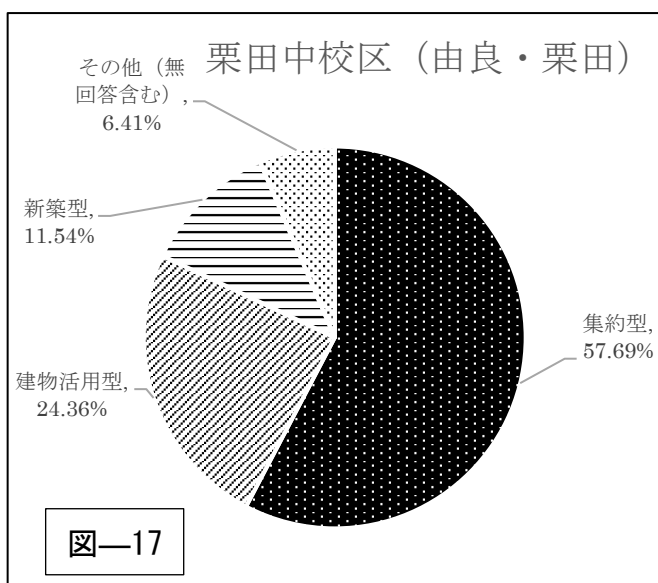
- ・年代別に見ると全ての世代で「集約型（ミップルビル集約プラン）」を選択した割合が最も高い。
- ・若年世代では集約型を選択した割合が全体に比べて高く、高年世代では建物活用品、新築型を選択した割合が全体に比べて少し高い。（図—14、15、16）



【居住地別回答】

- ・居住地別の回答においても、すべての地域で集約型を選択している割合が最も高い。
- ・栗田中校区、橋立中校区、市外では、新築型を選択する割合が全体に比べて若干低い。

(図—17、18、19、20)



Q2 その他【自由記述】の意見

- ・整備内容、新たなプランに関する意見等：44件
- ・設置場所に関する意見等：17件
- ・その他意見等：19件

※件数は、3プランいずれかを選択した上での意見記載も含む

※自由記述の原文は巻末に記載

～巻末資料～

●各設問回答結果表

Q1 基本コンセプトについて

庁舎整備にあたって、次の4点を基本的コンセプト（庁舎整備の考え方）として検討しています。これらの中から特に重視すべきと思われるものを2つ選択してください。また、そのほかに重視する点がありましたら記入してください。

Q1 基本コンセプトについて	回答数	割合 (%)
ア 利用しやすく親しみのある庁舎	290	21.48%
イ 災害に強く、安全安心を確保する庁舎	317	23.48%
ウ シンプルで経済的な庁舎	350	25.93%
エ 機能的な庁舎	317	23.48%
その他（自由記述）	76	5.63%
計	1,350	100.00%

※複数回答のため割合は回答数1,350に対する割合 (%) である。

Q2 市庁舎整備プランについて

各種法令や今後想定される収支経費など種々の要件を勘案し、基本的な方向として次の3つのプラン（集約型、建物活用型、新築型）を整備候補として検討しています。これらのプランから最も望ましいと思うものを1つ選択してください。

Q2 市庁舎整備プランについて	回答数	割合 (%)
集約型	318	51.04%
建物活用型	149	23.92%
新築型	86	13.80%
その他（無回答含む）	70	11.24%
計	623	100.00%

Q3 ■回答いただいた方について1（年代）

Q5 ■回答いただいた方について1（年代）	年代区分	回答数	割合（%）	年代区分毎回答数	年代区分毎割合（%）
ア 19歳以下	若年	13	2.09%	141	22.63%
イ 20歳～29歳		44	7.06%		
ウ 30歳～39歳		84	13.48%		
エ 40歳～49歳	中年	101	16.21%	232	37.24%
オ 50歳～59歳		131	21.03%		
カ 60歳～69歳	高年	139	22.31%	247	39.65%
キ 70歳～79歳		89	14.29%		
ク 80代以上		19	3.05%		
ケ 回答しない	回答なし	3	0.48%	3	0.48%
計		623	100.00%	623	100.00%

Q3 ■回答いただいた方について2（お住まいの地区）

Q6 ■回答いただいた方について2（お住まいの地区）	中学校区	回答数	割合（%）	中学校区別回答数	中学校区別割合（%）
ア 由良地区	栗田中校区	29	4.65%	78	12.52%
イ 栗田地区		49	7.87%		
ウ 宮津地区	宮津中校区	324	52.01%	363	58.27%
エ 上宮津地区		39	6.26%		
オ 吉津地区	橋立中校区	48	7.70%	150	24.08%
カ 府中地区		47	7.54%		
キ 日置地区		21	3.37%		
ク 世屋地区		3	0.48%		
ケ 養老地区		22	3.53%		
コ 日ヶ谷地区		9	1.44%		
サ 市外	市外	31	4.98%	31	4.98%
回答なし	回答なし	1	0.16%	1	0.16%
計		623	99.99%	623	100.01%

※小数点以下第3位を四捨五入しているため100%とならない。

●【自由記述】原文

Q1 基本コンセプトについて【自由記述】原文

【市財政状況、整備費用に関する意見等：15件】

- ◆宮津市は財政が日本全国でも有数の脆弱都市でかつ人口減少も著しい。そのような状況下、将来の世代の負担をできるだけ少なくするよう、経済性を最大限考慮し身の丈にあった庁舎とすべきである。また、将来的には近隣市町村との合併も考えないといけない。とにかく経済性を最優先されたい。大きな借金で箱物はもう作らないでほしい。
- ◆今は出費を減らすことが第一です。雨漏りがあっても辛抱するぐらいの覚悟が必要です。
- ◆財政状況に応じた施設管理、運営
- ◆ミップルへの集約や分庁方式等での経費のかからない方法
- ◆今の宮津市の財政で出来るとはおもえません。
- ◆庁舎は誰のためにあるのか。この共通言語を委員の方が持つことが一番のポイントです。庁舎は市民のためにあります。南北に長く飛び地構造の宮津市は合併による宮津市誕生で弊害にもなった人口分散型構造を持っています。更に高齢化による庁舎訪問が減少していきます。この状況から庁舎の有り方を考えたら分散型庁舎がベストです。職員ミーティングはネットによるテレビ会議、リアルミーティングは毎週〇曜日毎月〇日など定例化することで、効率化でき無駄が無くなります。職員は地域密着勤務型を優先することで、地域課題の解消になります。今の、将来の宮津市を考えれば一点集中庁舎は無用です。イニシャルコスト、ランニングコスト共に減少できます。
- ◆経済的を第一に移転
- ◆利便性と将来の市民負担が少ない庁舎を希望します。
- ◆ただでさえ宮津市は財源が厳しい状態なので整備は大事かと思われませんがコスト削減をお願いします。後、別館がミップルになってますが1箇所にとめて欲しいです。本館と行ったり来たりしないといけないこともあって手間だなあ〜って感じたこともあります。
- ◆財政負担を押さえてする。
- ◆市の財政を考え、現在ある建物を利用するべに
- ◆財政も危機的な状況の中、基幹事業が未だ育っていない地域環境を踏まえると、箱物に積極投資する時期ではないと思います。
- ◆財政難の為、お金をかけない方法でお願いいたします。
- ◆ict、dxにより、確実に業務の効率化や市民が登庁する必要が減るので、経済的でシンプルな庁舎を望みます。人口や税収が減る中で、建設費だけでなく維持管理費や手間がかからない形がベストだと判断しています。一時的には不満や反対が出るかもしれませんが、足元だけでなく30年50年先も鑑みて、職員の方々の知恵と努力、理事者の判断力でこの事業を推進してってください。
- ◆団塊の世代がいなくなると税収が落ちるため、市民への負担が増えない事が大切。税負担の軽減ができる町づくりが復活の手がかりになると思います。

【整備内容に関する意見等：21件】

- ◆駐車スペースが広く、市民が利用しやすい場所に移転してはどうか検討して欲しい。
- ◆今のように分散型でなく、一箇所で用事が済ませられる様にするべき。
- ◆だんだん宮津の人口は少なくなっているのでコンパクトな建物でよい。
- ◆それぞれの課に対応カウンターを設けてほしい。
- ◆宮津学園を小、中学統一して今の中学校校舎を改築し市役所庁舎と出来ないか。上宮津小学校も利用できるのでは。
- ◆既存の建物の再利用が一番いい財政難の今有効活用するべきではないか
- ◆新たな箱モノの建設は絶対反対。既存の建物をリノベーションして利用すべき。
- ◆ワンフロア又は全館吹き抜けのように冷暖房費がかかるデザインは採用しないように。外観もシンプルにして将来のメンテナンス費がかからないように。府内の新しい庁舎を見学してください。
- ◆新たな新規設置は現実的ではないと考えます。例えば、みやづ歴史の館など利用頻度が少ない既設の公共施設を転用するなどしてもよいと考えます。
- ◆①ミッブル集約がいいように書かれているが、大型スーパーがなくなり買い物できない。買い物難民が出る。買い物できる商店街を宮津市指導で作ってほしい。②みやづ歴史の館リノに加えてほしいのは現在ミッブル3階4階フロアの一部一般に有償貸し収益上げる。その他意見 全ての駐車場を観光等や外部者は有料、市民は無料にして収益をあげる等を検討してほしい。
- ◆市民ができる限り登庁する必要のない、職員が分散できるようにデジタル化を進め、新たに庁舎を建てない。
- ◆ドッポのパチンコ屋の建物が空いていますので使って下さい。
- ◆人口が減り続けていることを考えると、既存の使ってない建物を利用すべき。この財政難で新庁舎建設というプランが出てくるのは有り得ないです。せめて現実的な資金回収プランも合わせて提案するべきだと思います。
- ◆デザイン性はゼロにし、機能性と職員のサービス向上で市民が安心して利用出来る市役所を切望します。職員の皆さんにも笑顔が出るような職場環境が整うことを願っています。
- ◆市役所に特別な豪華さやデザインは必要ない
- ◆市役所本館は大変歴史的な価値があるので増築された部分を撤去し元に近い状態に戻し中身はギャラリーや多目的ルームで市民が使いやすい環境作りをして文化施設で使用。モダン建築は残すべきものです。
- ◆デジタル化で限りなく省スペースで最低限の機能を集約。職員を1箇所に集めるのではなく各地域にシェアワークスペースを作り、分散して地域密着の行政を行う。公民館を活用するのも良いですね。
- ◆ミッブルは図書館、にっこりあ の階を除いて全て賃貸。新築型
- ◆建物は一ヶ所にまとめて欲しい

- ◆各地の地震を見ても災害対策拠点が災害にあわないことが大切で海拔ゼロメートル～数メートルの場所は災害にあう危険が高い。職員の方の意見はしっかり聞いてほしい。
- ◆防災に強く！埋立地ミップルでは液状化するのでは？津波にも弱い

【その他意見等：40件】

- ◆今後、市町村の在り方等、行政改革が行われると思います。宮津支社的な建物で良いのではないですか。福知山、綾部、舞鶴、宮津、京丹後の5市、与謝野、伊根の2町が合併することを考慮するべきである。
- ◆歴史的価値ある宮津市役所の建物が無くなるのは非常にもったいない。何とか残して何かしら活用出来ないでしょうか。将来的に財政負担が課題にならない事とても大切だと思います。
- ◆②については、選択肢というより当然必要な機能だと思います。
- ◆なぜ複数選択しなければならないのか意図がわからない。
- ◆1番のデジタル化については大いに賛成です。
- ◆明るくゆったりとした開かれた誰でも集える空間を持った庁舎
- ◆きれい、分かりやすい
- ◆デジタル化とともに、高齢者への手続きの補助を行える窓口の体制が必要です
- ◆既存本館リノベーションによる継承と創造による市民のこころの拠り所となる庁舎、既に歴史的に価値のある建物があるのだから、経済面や機能面を重視した画一的でつまらない庁舎でなく、既存建物をリノベーションすることで、景観保全に配慮しつつ新たな機能を取り入れ、伝統の継承と新たな価値の創造を目指した庁舎とする
- ◆火葬場など防犯カメラ設置。内部外部常時
- ◆上記の項目全て必要だと思いますが、費用のことも有り優先順位が必要かと思います。第一に「機能的である」第二に「シンプルで経済的」第三に「災害に強く安心安全を確保」第四に「利用しやすく親しみがある」と思います。
- ◆市役所は雰囲気暗くて行きづらいので、明るく温かく、宮津の未来に希望が持てる場所にしてほしい。絶景や笑顔スライドショーなどどうですか(移住したくなるような)
- ◆デジタル化を推進することはお金がたくさん必要ですが長期に見たときの働き手不足に対応には不可欠、また職員にも働きやすい職場にもつながる、よって1と4は同じ質問であると考え
- ◆危機対応時など肝心の時に機能し、住民対応できる庁舎であるべきと大切と考える。
- ◆人口統計データを考慮のうえ
- ◆東京都庁のように、金がかかっても誇れるような建物にして欲しい
- ◆天橋立が見えるなど、宮津市の象徴的な建物で、デザイン性もある方が、開放的で親しみやすいデザインになりそう。
- ◆『いざ』と言いつつ、機能しないのはoutです。
- ◆財政難ではあるが単にシンプルではなく様々な協力、寄付、知恵、意見等しっかりと、魅力的な市役所をつくっておかないと後々後悔するし、市の象徴として市民の夢希望もてるものに。デジタル安全全ての人に優しいとか当たり前かも。外観も大事。宮津

らしさって何だろう。端から端まで目を向けてみて。全市民の声をきくことは良いですね。

- ◆笑顔で挨拶や対応してもらえたら、機能性とかは問題ではないです。
- ◆災害に強い庁舎は、結局長期目線で見ると費用が抑えられると思う。確かに維持費や経済的な事を考えれば高くつくかもしれないが、有事の際に破損し使い物ならないでは全く意味がないので、頑丈かつ強固な市の拠点としなければいけない。
- ◆既存庁舎は残存させるべきと考えます。理由は都市計画家であり建築家である沖種郎の設計した建築物であることです。宮津市は天橋立を中心とした観光都市であります。一方、宮津天橋高校に建築科があるにもかかわらず(景観法はありますが、)天橋立を生かした建築物はほとんどありません。強度的にも庁舎として利用し続けることは難しいと思いますが、現庁舎を全体解体するのも費用がかかります。しかし、利用用途により求められる構造強度は違うため、現庁舎を小規模店舗などに利用形態を変え、補強費用を抑えて活用すべきです。賃貸とすればテナント収入なども入ります。市が観光都市を上手に盛り上げることができれば、賃貸としての魅力も相乗効果で上がるはずです。あまり考えずに済むため、住宅にしても建築物を活用せず解体し新築する傾向がありますが、LCCO2などの観点からも既存建築物を活用する方法を模索するのにお金と時間と頭を使っていたきたいです。
- ◆将来的なことを考えた長いスパンでの計画をお願いします。
- ◆昨今の災害に対応できる庁舎にしなければならない。大手川増水洪水や津波の影響を受けない場所への移転が必要です。
- ◆あらゆる災害に強い場所や構造、あらゆる人にやさしく機能性の高い庁舎にしてください。
- ◆もちろん利用しやすい庁舎がいいですが、目も悪くなっていくし、デジタル化では私も高齢者はついて行けません。何よりも、選択科目を少なくするのではなく、もっと広く市民に尋ねることが必要です。機能的な庁舎も大切ですが、職員一人ひとりに尋ねて、市民のための庁舎、職員が働きやすい庁舎を、共に創っていくべきです。
- ◆職員にとって働きやすい職場である事、職員のやる気、元気が出ると住民に対する対応も明るく元気に対応してくれると思う。住民も親しみやすく利用しやすくなるのではないかな。
- ◆人口が数年で1万5千人程度になるのを想定した上での計画なのかどうか？
- ◆ア～エのどれも重要ですが、市民が利用しやすいことが一番と思う。庁舎であると同時に宮津線の御旅所的な扱いとして神輿だけでなく神楽や太鼓の披露の場でもあったので、移転する場合に跡地利用も気にかかるそうです。
- ◆ここで集めたいと住みたいと思えるおしゃれな市役所
- ◆デジタル化されていくことに違和感、疑問を感じている人もいるし、ついていけない人もいる。デジタル化されることが良いとは限らない。障害者の方、高齢者の方が手続きしやすい配慮のある、優しい、思いやりのある窓口であってほしい。
- ◆身の丈にあったもの

- ◆各地区にある支所をデジタル化して、高齢者が手続きしやすい方法を願う。40年～50年で建て替わるとなると、コンクリート、鉄骨等を利用せず木造で十分なのでは？
- ◆アはそれほど重視しなくてもよい。ウ・エが保証されれば優くなるはず。イ、緊急時対策としてあの場所(今の庁舎)はよくないのではと心配する(津波に対して)
- ◆ア、イ、エは新築庁舎？
- ◆選ぶのは難しい。どれも大切だと思うが、働きやすい庁舎は市民にとっても利用しやすい庁舎になると思う。
- ◆1. 基本コンセプトについて

このコンセプトが市民に訴える基本となる故、表現を整合性あるものに修正ありと考えます。

例えば

(ア) 利用しやすく親しみのある庁舎

- ・市民の生活を支え、高める拠点として、心安く訪れることが出来る庁舎
- ・デジタル化等により、高い機能を備え、市民が安心して利用しやすい庁舎
- ・訪れる人に等しくやさしく親切な庁舎

(イ) 災害に強く、安心安全を確保できる庁舎

- ・強固な防災性を備え、市民が安心出来る庁舎
- ・非常時、緊急時の対応拠点とし、しっかり機能出来る庁舎

(ウ) シンプルで経済的な庁舎

- ・将来の財政負担とならない様配慮した庁舎
- ・簡素でシンプルなデザインの庁舎

(エ) 機能的な庁舎

- ・業務連携機能を充実し、業務の効率性を高める庁舎
- ・職員の意識、意欲を高め、市民の信頼に応える働きの出来る庁舎

以上の様に愚文を提案します。(既に遅いか)

尚、コンセプトはいずれも重要ですが、あえて2つと言うなれば「ア」と「エ」の2つです。

- ◆まず、はじめに。

住民への市民アンケートの周知はされましたが、アンケート用紙が市民に届く形になっていないのはどうかと思います。市にお尋ねすると「リサーチ会社の集約上この形」とのことでした。

市庁舎整備は、どんな市をつかっていくのかの大本の上に考えられていくものではないでしょうか。

財政難は承知の上で必要なものは建てなければなりません。

こう考えた時、アンケートで気になるのは、市はどうゆうものを整備すべきと考えているかの提案がないこと。

そして、それをもとに、市民に広く・・・市民活動などを行っている関係団体、とりわけ働いている市職員、職員組合など意見を聞いて合意形成をはかろうとしているのかです。

1について

イを選択します。

2つ選択となっていますが、ア、エ の中の項目に疑問があります。

ア 利用しやすく親しみのある庁舎

「すべての人にやさしい庁舎」としながら「手続きがデジタル化されて総合案内など窓口手続きが利用しやすい」とあります。デジタル化は構いませんが、すべての人、とりわけ高齢者や障害者などに「やさしい」がデジタル化で可能となるのでしょうか？

エ 機能的な庁舎

この項目は、働く職員の皆さんの意見を聞くべきではないでしょうか。

職員にとって働きやすいことは、とても大切なことです。更衣室、休憩室などの整備も検討されるべきではないでしょうか。

Q2 市庁舎整備プランについて【自由記述】原文

【整備内容、新たなプランに関する意見等：44件】

- ◆機械化されると対応が難しい人を切り捨てることとなります。窓口は親身に対応できるような方法を提示していただきたいです。
- ◆遠方に遊びに行かなくても宮津市で、ユニバーサルやディズニーランドみたいまで真似出来なくても素敵な皆がワクワク出来るようなパークや温泉やホテル等あれば嬉しい エリアには宮津の民謡体験、踊りや着物体験、三味線、田植え体験 農業体験、釣り体験、虫取体験、絵画、書道、手芸等大人も子供と一緒に楽しめる楽しい町にしたい
- ◆島崎公園をぶっ壊し、新庁舎の建設、駐車場はミップル第1駐車場の半分130程を利用。道の駅はトトマート一帯へ集約。観光船乗り場も漁師町へ移転させる。歴史の館の駐車場は少なく立駐までの距離もありミップル第1駐車場へ勝手に止めて行く輩もいる為、歴史の館の駐車場もグラウンドを改修して駐車場にすべき。体育館駐車場も立駐に分かりやすく表記すべき。
- ◆新築型がベスト。あえてミップルに機能をおいておく理由が分からない。
- ◆ミップルの東側駐輪場部分に新築し、現在の本館、別館を移転する。
- ◆ミップルの庁舎を廃止して庁舎一本化
- ◆ミップルでの機能を廃止して1本化にする。
- ◆みやづ歴史の館のリノベーションは賛成です。市民の利用率の高い部署を、ミップルビルにもって行くべきです。宮津会館は撤去して駐車場にするべきである。
- ◆ミップルに全て移転し、現ミップルの店が無くなり賑わいが無くなるのは非常に寂しい。ミップル内の商店が無くなり、かつ、市街地の商店街の活性化も期待できない中で、市の賑わいはどうなるのか。そういう意味で、現ミップルの機能の維持、歴史の館の活用が選択肢的には優位です。なお、大会議室が支え合いセンターの2階では、しょぼいですがご検討いただきたい。
- ◆集約されていて、今後長く維持費が少なく使用できる施設を希望。新築するなら集約は必須で欲しい。ミップルビルの耐久性は大丈夫か？新築とどちらが将来的費用が少ないのか？駐車場が広くある施設でないと、市役所に車停めるのも大変。高齢者も多く不便。

歴史の館の駐車場が狭くて、浜町パーキングから子供連れての移動も大変。自分が高齢化した時を考えると駅から近いところがよい。よろしくお願いします。

- ◆新築型で良いが、現庁舎撤去後に宮津会館的な施設が必要と思う。
- ◆コストはかからない方がいいが、新しいものを作る前に、既存の使用されていない公共建築物を撤去すべき。そういう意味では「新築型」。
- ◆現庁舎を建替え全て集約する。ミップル移転後の家賃を払い続ける事を考えると、建替え費用は算出できると考える。
- ◆廃校等を利用して、部所の分散化
- ◆集約プランが嬉しいですがミップルも結構、子供が小さい頃は困りました。別の場所に集約ってというのは厳しいですか？
- ◆建物活用型2（本館リノベーションプラン）
 - ミップルビルの庁舎は継続した上で、必要ならば一部部署をミップルに移し、別館は取り壊し、本館をリノベーションするプラン
 - 業務のデジタル化と働き方の改善を推進し、現市役所機能の縮小を視野に入れ、かつ新たな機能を取り入れる事で価値を創造する庁舎計画とする
- ◆デジタル化で北部地域からも訪庁しなくても多様な手続きが行えること
- ◆建物活用型で、ミップルにある部署も全てをみやづ歴史の館に移転するという案はどうでしょうか。
- ◆既存の建物を改修するに1票です。素人考えですが、みやづ歴史の館はミップルと近いので地震や水害等危険な事が起きた時にどちらの建物にも近づけないことが想定されませんか？ミップルが水辺に近いので、もう一ヶ所は海や川とは離れた所はいかがでしょう。
- ◆新設すべきだが、多層階にするメリットが見えない必要な面積を算出し、かつサテライトオフィス、在宅も実施すべき
- ◆窓口部門はミップル集約で、その他の部署は空いている公共施設に分散でいいと思います。商工と農林はととまーとの2階がよろしいのでは？
- ◆ミップル集約プランが利便性がよいと思いますが、2階の店舗がなくなると不便ではないでしょうか。ミップル3階通路等休憩スペースが無駄に広いのでそこを上手く活用し、それでも足りない部分はととまーとの2階に別館1階部分を移転してはどうでしょうか。
- ◆建物活用型が望ましい。宮津歴史の館のリノベーションと、労働会館、旧図書館の利活用についても検討されていると思うが、有効活用できるようにいろいろな案を検討して決定してほしい。
- ◆基本的には新館型がベターではないかと考えます。（理由…宮津会館は大規模改修を繰り返し、後でその費用総額から安価で良質な新築が出来たとの声を聞きました。ミップル庁舎は、営業継続の中の工事のため、かなり経費が上振れしたと聞いています。SDGsの観点からは集約型は魅力ですが、建築年数も経っているため、長期的な継続性の観点から、新築型（強固、簡素）を選択した方がよいと考えます。
- ◆現在の庁舎の再利用
- ◆現在の本館の建替えで全ての部署を集約。2箇所に分けるのはやめてほしい。宮津会館はホールを改修すべき。歴史の館の文化ホールは小ホールとしてはいいが、狭すぎるし音響

も悪い。きちんとした大ホールを整備してほしい。音楽や芸術を軽視しないでほしい。若者や子供に魅力のある市を目指すと言いながら、魅力のある施設は全て無くなっていくのはどういうことか。(役所建替えとは関係ないが)

- ◆既存の施設の改修再利用
- ◆ミップルビルを残すのであれば、立体駐車場を利用するか立体駐車場横のバスの駐車場を残したまま庁舎にし、立体駐車場とミップルビルの3階4階フロアに通路を通す。
- ◆新築型を支持する。ただ、現庁舎もモダニズム建築の建築物として価値があるので耐震性を付与して民間企業や地域住民が活用できるようにすべき。潰してしまうのは簡単だが、文化財としてアピール出来る可能性がある武器を自ら手放す選択は如何なものか。
- ◆ミップルは観光客も使うことから今後の発展のために市の機能は撤退し、市役所機能は歴史の館だけで良いのでは？ 市民窓口を不要とする部署は在宅勤務が時代の流れかと思えます。
- ◆今ある全部署全機能を一つの建物の中に集約する
- ◆建物活用型に賛成。ただし、少しでも市民負担を減らすため、現在の本館と別館を解体して有料駐車場とする。市役所利用者は無料とする。現在の市役所が文化財的な価値あるとしても市民負担の軽減にはならないと思います。
- ◆ミップルに全機能を集約するが、それぞれ地域にあれば良い機能は分署として配置する。とにかく全員が集中して勤務しない。出勤しなければ駐車場も不要、余分なインフラ費用は削減する。
- ◆ミップル庁舎はなくし、現在の市役所の近くに新築する。ミップルは以前のように売場拡大する。
- ◆庁舎の集約型に賛成。多目的利用ができ、遠方からの用足し誠に結構である。駐車場の利用、利便性の向上を願う。高齢で足腰に痛みがある人への配慮を！
- ◆人口減少の予想される将来、負担を将来に残さず現在の建物を活用する案に賛成
- ◆イの案も気になるが歴史資料館収蔵庫を日置地区公民館2Fへ移転が気になる。宮津会館をどのみち解体撤去するならばウの案が一番スッキリするのかなと思う。負担額がすごいです。
- ◆今の庁舎を耐震補強などして、また、外観も掃除して、多額の費用をかけずにしてほしい。
- ◆アではミップル2Fの衣料品売り場がなくなるのも困る。イで宮津会館跡地を駐車場にすることで、文化ホールが使いやすくなると思う。また、海の美しさを見渡せる庁舎として3F, 4Fの海側の眺望を生かせると嬉しいです。
- ◆なぜ民間に貸し付ける案なのか。どのくらいの収入を見込んでいるのか全く不明で単なる思い付きの感がする。純負担の1/4~1/5くらい？それ以下と思われるが。活用する民間があるのか。休校、廃校になった所の活用はかんがえないのか。分散してもいいのではないか。資材が高くなっているのに今？計画性がない。建て替えの必要はずっと前からあったはず。
- ◆現代アートの建造物を望みます
- ◆負担額の少ないアを選びましたが、理想は、新築して市役所のすべての部署をひとつの建物にまとめて欲しい。バラバラだと分かりにくく不便な為。ミップルの中に市役所が入り

売り場が減ってしまうのは残念なことだし、ミップルを頼りにしている人にとっては困ります。

◆建て替えにむけてどのくらい前から基金として積み立てていたのか。まさかやってないなんてことはないと思うが。なぜ日置が物置小屋になるのか。近くにあるはず。旧上宮津小2階、3階の利用は地域の活性化に使うべき。極めて場当たりの。

◆人口減少により学校等の施設を利用

◆長い期間を考えると、耐震など新たな庁舎を建てるのが良いと思う。

◆3プラン案の選択の中で他の適地はなかったのか、現庁舎をどうするか、記念的なものとして保存することも考えられるが、将来の負担になる。現庁舎地や、島崎の浄水施設のある公園部分に新設するには、全業務部門を集約したり、駐車場を設ける対応が出来ないのかどうか。以上の事がすでに検討済みで3プランの提出がなされたと理解して次に3プランに一考します。

3. 提示された3プランへの意見と選択

(1) ミップルの建物の耐用年数から考え、今回の投資が安価故としてここに投資するは、将来問題を残す故賛同し難い。

(2) 市財政の状況が不勉強で今一つ不明であるが、老朽し使用に耐えない「宮津会館」をやがて処分しなければならない事を考慮し、可能であれば「ウ」の新築型プランを已むなしとしたい。

但し、「歴史の館」部と連携させミップル内の庁舎部も統合することが必要なり。

必要なり

2014年日本創成会議が、全国に消滅可能都市が896都市有り、このまま大都市圏への人口集中が止まらず若年層の減少が進めば、2040年に49.6%の都市が消滅すると指摘し、全国に衝撃を与えました。政府は、これを受けて「地方創成」を柱に施策を進めましたが、掛け声倒れの様になっております。

今年正月創成会議の座長であった増田寛也氏は、上記提言から10年、大都市集中は止まらず、消滅可能都市は1000を超える状況になっており、2040年を待たずに当初予想の消滅都市率を超えるだろうと意見を出しています。人口の推移から、当市もその範疇あることから、若年層の定住増、移住者層の促進等に人口減対策を最重点に取り組むことが第一だと考えます。

新築方庁舎計画においても、以上のことを踏まえ、民間施設の導入の見通し、適正な規模等々諸般につき一層厳しい検討の上実施計画を練り上げるべしと思います。

【設置場所に関する意見等：17件】

- ◆現在の庁舎を撤去し同じ場所に新築するプラン
 - ◆上宮津小学校の跡利用は無理ですか。グラウンドもあり広く利用が可能だと思いますが。
 - ◆災害時に確実に安全が確保される場所での新築でもリノベでも。
 - ◆高速のインターのそばに建設して宮津市の新たな拠点として発展させた方がいいと思う。今の場所は商店街がシャッター通りと化して衰退してしまっている。新庁舎建設が宮津市の活性化の起爆剤になればいいと思う。
 - ◆廃校になった学校の活用
 - ◆3プラン共島崎地区に立地する案だが、津波等災害時の機能維持を考慮されているか不明です。
 - ◆島崎は津波などの災害での危険はないのでしょうか？もう少し安全の確保が出来る場所はないのでしょうか？
 - ◆本庁舎は、海沿いでない方がいいのではと思います。災害発生時に周りに広場のある場所対策本部ができる所、嶋崎はヘリポートに使用する。
 - ◆ドッポは売りに出されているのでしょうか。あの建物を上手く使えばいいのでは？安く済みそうな気がします。場所もいいですし。
 - ◆建物活用に票を投じたいが、歴史の館周辺に機能を移すのは検討の余地がある。災害拠点にもなる市庁舎である限り、海の真横は避けるべきだと思う。島崎は元々が埋め立て地であり、液状化や海面の隆起津波など、一時災害でダメージを喰らいやすい。更にそんな状況で職務を遂行する為に職員が出向き、更に庁舎から現場に行く。これではただ時間の浪費であり、車両の交通も悪いので別の建物活用か現市庁舎を取り壊し、新たな物を今の市役所がある場所で作る方が結果的に良いかもしれない。
 - ◆今回の地震津波は結果として宮津では軽微なものでしたが、それでもやはり重大事としてとらえなければなりません。庁舎は海拔の高い所に設置することが大事とおもいます。例えば天神団地には十分な広さの私有地が空いています。
 - ◆災害が考えられる以上、海岸に近いところに移転するのは駄目だと思います。ミップルはこれ以上商業施設を減らすと、ミップルとして機能しなくなります。他の安全な地域に移転が必要です。
 - ◆能登震災があり未だ継続中ですが、どの案も災害に強い場所をクリアできていないどころか危険区域にさらに移動している案と思います。南海トラフを危険視している今、これまでの想定以上の想定をした災害に強いものにするべきです。また高齢化が加速している中、ミップル集約では生活に必要な物の購入先の幅を狭めます。島崎方面案は公共交通ルートから離れてしまい身体的に苦しめる案です。もっと市民の意見や市民の目線になって考え直してください。
- 今の庁舎もそうですが、ミップルも、歴史の館も、宮津会館も、すべて地震には弱い地盤ですね。埋め立てたところですね。それに、今の庁舎もそうですが、ミップルも古い建物だと聞いています。歴史資料館は空調設備もしっかりしていて、日置公民館に移転すると聞きましたが、いかがなものかと思います。今でも、高齢者の方々は、ミップルと本庁舎が離れているため、困っています。よって、3案にはすべて反対です。ミップルの継も

含め、市民のみなさんにもっともっと意見を聴くべきです。また、天神団地に空地がありますが、ここに市庁舎を建設したらどうかと言うご意見も聞きます。もっと市民の意見を聴くべきです。

- ◆廃校、休校の建物を耐震工事を行って使用してはどうか
- ◆アでは宮津市民の多くが買物難民のようになってしまうので× イではせっかくの歴史資料室などが使用できなくなるし、そもそもの施設が海拔ゼロでは× ウでは経済的に大支出になるのでは？そしてやっぱり海拔ゼロで× 上宮津には天神団地あとなど災害に強い使用可能な場所がある。そこに府内産木材を活用して災害に強い建物を作るのが良いと思う。
- ◆どれも地震、津波に弱い。少し高台で活用できる建物はないのか？例：上宮津小学校・宮津与謝消防組合本部の近くに土地を探すとか

【その他意見等：19件】

- ◆ランニングコストが安くなる手法
- ◆三案共ミップルビル庁舎は継続だが4F部分は新庁舎に含むのは何か不都合があるのかな
- ◆今は財政の改善が最優先です。
- ◆1. 経済的でシンプルな建物とし、すべての部署を集約する。
 2. 島崎エリアには建築しない。
 3. 新庁舎、駐車場、将来の町作り用地等を含めて、土地を購入、または借用する。島崎エリアから離れて、新しい起点を作る。
- ◆全ての部署を1つの建物に集めるミップルの部署は 新庁舎に集約ミップルは阪急側に返還する事
- ◆ミップルを継続しなければならない意味がわからない。新築するなら集約すべし。あちこち行くのは面倒。不親切極まりない。市民を何だと思っているのだ！ミップルに集約するなら、最初からそうすべしだった。
- ◆経済活性化の象徴である商業施設「ミップル」に市庁舎を移転し経済の衰退を生みました。日常的に利用する商業施設の面積を割愛し、たまに利用する庁舎を設置した「本当の理由」を市民に説明しないことが理解できません。また固定資産税と家賃を相殺していることも法律的に疑惑スレスレです。それでも本意見徴収のどの設問にもミップル庁舎の継続が記述されています。歴史の館はサウンディングによる民間活用を進めていると聞いていますが設問に庁舎移転がでています。サウンディングは失敗したのなら市民に説明すべきと思います。また現庁舎の対応策に触れられていませんがどうされるのでしょうか。意見：庁舎は分散型を提案します。廃校、地区公民館の活用、本庁舎はミップルの現状使用です。人口減少10年後13,000人の宮津市に相応しい庁舎を「選ばれた委員と自らの意思で入職された市職員の皆様は重い責任を背負って」決めて頂きたい。
- ◆プランについて尋ねるなら、3プランにそれぞれにかかる費用の見積もりも示しておくべきだ。また、そもそもQ2の3つの選択肢しかないのに、わざわざQ1を設けたのか。本当に市民の声が聞きたいなら、Q1の基本コンセプトを決めてから、それを実現

できるプランを選択するのが筋だろう。最初に3プランありきならQ1の意味がない。頭の中をもう少し整理してからアンケートをすべきだ。

- ◆近隣の市（京丹後市、舞鶴市）へ合併し、市民との窓口業務部署はミップルビルに残し、それ以外は合併先の部署が吸収。
- ◆今の宮津庁舎はとても貴重なコの字型のモダニズム建築なので何とかそれを残して欲しい。
- ◆歴史の館は外観が良いと思う。宮津会館？は古いから建て替えて、児童図書館やその辺りを整備した方がよさそう。あの辺り、良い場所なのにとっても残念な雰囲気。海も近く、道の駅からの動線を工夫すれば観光客にも魅力的。向いに松並木も見えるのに。道の駅の建物、雰囲気も中途半端で残念。ハマカゼ？も開いているのか暗くて分かりづらい。町中心部の植木等植物を普段から手入れ出来ていなくて、あ～町がさびれているんだなと感じる。ボランティア募って綺麗にすれば？それだけでもイメージ良くなりそう。
- ◆本町等の空き家活用 空き家が各部署などの市政スマートストリートのような思いきった宮津ならではの発想
- ◆3つの案とも賛同できない ア 2Fの売場までなくなる イ 会議室が無くなる（コミュニティルームは音が悪すぎる） ウ 4～6F 民間施設貸付、特にホテル構想は無謀 ※市民の声を拾い上げる手続きの積み上げがなされていない
- ◆現庁舎を継続使用する。庁舎移転、新築は行わない。理由：庁舎のために多大な出費をする余裕はないはず
- ◆人口減とまた歳入不足の中にあつて、市政を維持する事は困難である。過年度の市町合併から一歩進んで規模の大きい市に吸収合併させていただく事を考えるべしと思う。例えば、宮津は観光を主力に、他の業務は取次をする等大胆に考えるべしと思う。
- ◆合併を視野にした視点が必要ではないか。
- ◆2について

いずれの案にも賛成できません。

提案の3案ですが

まず「災害に強く、安全安心を確保する庁舎」という視点からの吟味はされていますか？

先日の能登半島地震を鑑みるまでもなく、災害時に行政の役割を果たすことができる庁舎が一番求められることではないでしょうか。その上で、

ア案 ミップルの建物はすでに26年経っており、平成16年(2004年)の台風23号の時は浸水したところではないでしょうか。その活用には疑問があります。

そして、ミップル2階部分に、議会も含めて現在の課が入るのでしょうか？現在の4階の課を入れ替えたとしても。また、宮津からどんどんお店がなくなっている中で、2階の店舗がなくなるとますます買い物ができない市となります。

イ案 歴史の館は、現在いろんな活動に活用されています。それらの活動は、「ささえあいセンター2階」でできるのでしょうか。また、歴史資料館には貴重なものがあると

聞いています。日置地区公民館2階へ移転させてよいのでしょうか？市政70周年というなら、貴重な資料の保管・展示にこそ力を入れるべきではないでしょうか。

ウ案 最初に述べたように、まず、場所として適切なのかの吟味が必要ではないでしょうか。場所として大丈夫となった場合、4～6階を民間施設(ホテル等)とすることに、違和感を覚えます。ホテル等の経営は不安定さがつきもので、そこからの収入を当てにするがために、収入が得られない時、市の財政が圧迫されるという事態が起こりえるのではないのでしょうか。

単純に考えて、市庁舎のみの建設とすれば負担額は55億48百万円より少なくなります。

その他のプラン

災害に強く、安全安心を確保できる場所に、市庁舎のみを建てる。

その際、現在のミップル内にある庁舎との連携も含め、はじめに書いたような手続きをとってください。

宮津市庁舎整備に向けての市民アンケート回答用紙

宮津市庁舎基本構想等検討委員会では、老朽化が著しく耐震性の低い宮津市庁舎の今後の整備のあり方について検討しています。

当委員会として、基本的な方向を定めていくにあたっての参考とするため、宮津市民の皆様のご意見を聞かせていただきたくご協力をお願いします。

アンケート期間：令和5年12月20日（水）から令和6年1月19日（金）

1. 庁舎整備にあたって、次の4点を基本的コンセプト（庁舎整備の考え方）として検討しています。これらの中から特に重視すべきと思われるものを2つ選択してください。また、そのほかに重視する点がありましたら記入してください。

ア 利用しやすく親しみのある庁舎

- ・市民が集え、活気あふれる庁舎
- ・手続きがデジタル化されて総合案内など窓口手続きが利用しやすい庁舎
- ・すべての人にやさしい庁舎

イ 災害に強く、安全安心を確保する庁舎

- ・強固な防災性を備えている。
- ・非常時・緊急時の対策拠点としてしっかり機能する

ウ シンプルで経済的な庁舎

- ・将来の財政負担が課題とならないようできるだけ経費を抑える
- ・簡素でシンプルなデザインの庁舎

■ 1 の回答記入欄 ↓

（ア、イ、ウ、エの中から2つ記入してください）

エ 機能的な庁舎

- ・業務の効率性が高い
- ・職員にとっても働きやすい

--	--

（自由記述欄：その他重視する点などがありましたら記入してください）

2. 各種法令や今後想定される収支経費など種々の要件を勘案し、基本的な方向として次の3つのプラン(集約型、建物活用型、新築型)を整備候補として検討しています。これらのプランから最も望ましいと思うものを1つ選択してください。(回答欄は次のページです。)

※現時点の検討段階において3つのプランいずれも関係先とは事前相談していますが、今後、市民の皆様の御意見を踏まえて、市がプランを決定した後に、関係先と正式に協議することになるものです。

ア 集約型 ミッブルビル集約プラン・市純負担額 39億02百万円(20年間)

ミッブルビルの庁舎は継続した上で、さらにミッブルビルに、現在の本館、別館のすべての部署を移転するプラン

●庁舎イメージ

<ミッブルビル>

5F	飲食店舗等(民間貸付け)
4F	庁舎、(管理部門等)、にっこりあ、コミュニティルーム
3F	図書館、コミュニティルーム
2F	庁舎(窓口、議会、防災拠点、玄関等)、事務所等(民間貸付)
1F	食料店舗等(民間貸付)

- ・2階を新たに庁舎部分として市民の利用が多い部署を配置
- ・3階は図書館、コミュニティルームなど現状どおり
- ・4階は管理部門、にっこりあなどを配置

- 整備イメージ
- ・ミッブルビルを宮津市が取得
 - ・1階と5階、2階の一部を民間に貸付け使用料収入を得る

イ 建物活用型 みやづ歴史の館リノベーションプラン・市純負担額 48億08百万円(20年間)

ミッブルビルの庁舎は継続した上で、みやづ歴史の館を改修し、現在の本館、別館のすべての部署を移転するプラン

●庁舎イメージ

<みやづ歴史の館ビル>

5F	庁舎(議会部門)
4F	庁舎(管理部門)
3F	庁舎、防災拠点
2F	文化ホール
1F	庁舎(窓口部門)

<ミッブルビル> 現在と変更なし

5F	
4F	庁舎、にっこりあ等
3F	図書館、コミュニティルーム等
2F	
1F	

- ・みやづ歴史の館ビルを本庁舎と文化ホールの複合施設とし、ミッブルビルとの分散庁舎とする
- ・1階に市民の利用が多い部門を配置、3～5階に管理・議会・防災拠点を配置
- ・2階の文化ホール、ミッブルビルは現状どおり

- 整備イメージ
- ・1階及び3～5階を全面リノベーションし、1階屋外に不足となる執務室を増築
 - ・中央公民館会議室はささえ合いセンター2階へ、歴史資料館収蔵庫は日置地区公民館2階へ移転
 - ・宮津会館を解体撤去し跡地に駐車場を整備

ウ 新築型 島崎エリア本館新築プラン・市純負担額 55億48百万円(20年間)

ミッブルビルの庁舎は継続した上で、宮津会館建物等を撤去し、新たに本館庁舎を新築し、現在の本館、別館のすべての部署を移転するプラン

●庁舎イメージ

<新本館ビル>

6F	
5F	民間施設(ホテル等)
4F	
3F	庁舎(議会、防災拠点等)
2F	庁舎(管理部門等)
1F	庁舎(窓口部門)

<ミッブルビル> 変更なし

5F	
4F	庁舎、にっこりあ等
3F	図書館、コミュニティルーム等
2F	
1F	

- ・宮津会館跡地に新たに本館ビルを建設し、1階に市民の利用が多い部門を配置、2～3階に管理・議会・防災拠点を配置し、ミッブルビルとの分散庁舎とする
- ・ミッブルビルは現状どおり
- ・4～6階に民間施設(ホテル等を想定)を配置

- 整備イメージ
- ・宮津会館、旧図書館、旧労働会館を解体撤去し、跡地に官民合同施設を新築
 - ・同敷地内に駐車場を整備
 - ・4～6階部分を民間に貸付け使用料収入を得る

(回答欄は次のページです。)

2

■ 2 の回答記入欄↓

(ア、イ、ウの中から1つ記入してください)

--

(自由記述欄：その他のプランなどありましたら記入してください)

3. 回答いただいた方について教えてください。

年代 ア 19歳以下 イ 20歳～29歳 ウ 31歳～39歳 エ 40歳～49歳
 オ 50歳～59歳 カ 60歳～69歳 キ 70歳～79歳 ク 80歳以上
 ケ 回答しない

お住まい ア 由良地区 イ 栗田地区 ウ 宮津地区 エ 上宮津地区
 オ 吉津地区 カ 府中地区 キ 日置地区 ク 世屋地区
 ケ 養老地区 コ 日ヶ谷地区 サ 市外

■ 3 の回答記入欄↓

年代	お住まい
----	------

以上でアンケートは終了です。
ご協力いただきありがとうございました。

記入したアンケート用紙は、地区連絡所、市役所本館1階、福祉教育総合プラザ（ミッブル4階）に配置のアンケート回収箱に入れていただくか、郵送回答をお申し出の方は、返信用封筒にて送付をお願いいたします。

〒626-8501
宮津市字柳縄手345-1
宮津市庁舎基本構想等検討委員会事務局
(宮津市総務課情報推進係)
TEL：0772-45-1602

宮津市庁舎整備に向けての市民アンケートにご協力をお願いします。

宮津市役所本庁舎（柳縄手の本館、別館）は、築 60 年以上が経過し、耐震安全性が確保できておらず、老朽化が著しく進んでおり、この課題解決が喫緊の課題となっております。

こうしたことから、宮津市庁舎基本構想等検討委員会では、昨年実施した庁舎整備に関する市民アンケート等を踏まえ、老朽化が著しく耐震性の低い宮津市庁舎の今後の整備のあり方について検討しています。

当委員会として、基本的な方向を定めていくにあたっての参考とするため、さらに宮津市民の皆様のご意見を聞かせていただきたくアンケート調査にご協力をお願いします。

アンケート期間：令和5年12月20日（水）から令和6年1月19日（金）

※集計作業の迅速化の観点からできるだけインターネットによる回答をお願いいたします。



スマートフォンなどで
←の二次元バーコードを読み取りアンケートサイトへ
アクセスしてください。

アンケートサイト URL ↓

<https://questant.jp/q/66Q8ZXAG>

インターネット接続環境が無い方については、地区連絡所、市役所 1 階、福祉教育総合プラザに回答用紙・アンケート回収箱を配置しますので、ご利用ください。

また、地区連絡所や市役所までお越しいただくのが難しい方は、郵送対応させていただきますので、宮津市庁舎基本構想等検討委員会事務局（市役所総務課情報推進係）までアンケート用紙・返信用封筒の送付先（住所・宛名）をお知らせください。

TEL：0772-45-1602（ダイヤルイン）

検討委員会の資料、議事概要は、市 HP に公開しています。

<https://www.city.miyazu.kyoto.jp/soshiki/1/18731.html>



総務課情報推進係

TEL：0772-45-1602

島崎・浜町ウォーターフロントエリア民間資金等活用事業可能性調査の結果と今後の進め方について

今年度の委託事業として実施した本調査において、民間事業者へのヒアリングを行い、その結果を踏まえて、民間資金等を活用した事業化の可能性及びエリア活性化の方向性が下記のとおり示されたので、今後の進め方と合わせて、下記のとおり報告します。



1. ヒアリング結果と事業化の可能性について

昨年度のヒアリング結果を踏まえ、今年度は、従来の民間資金等の活用を検討するエリア（A・B）を、立地条件の良い道の駅を中心に島崎公園を含むエリア（C・D）まで拡大した上で、別紙のとおり123社に対してヒアリングを実施した。その結果を踏まえたエリア毎の民間資金等を活用した事業化の可能性は、以下のとおり。

エリア	ヒアリング結果と民間資金等を活用した事業化の可能性
A	<p>観光集客施設や移住定住に資する施設の誘致を想定してヒアリングを実施したが、現状のままでは「新規出店は難しい」「判断ができない」等の意見が多く得られた。立地は評価しつつも、周辺の賑わい不足や地代が割高であること、昨今の建築費の高騰等を原因とする意見が多く、課題が明確となった。一方で、周辺が賑わってくれば検討したいとの意見が複数あった。</p> <p>⇒現時点では、民間資金等を活用した事業化の可能性は低い、エリア全体が賑わってくれば可能性はある。</p>
B	<p>既存施設への民間投資リスク等から、民間収益施設の誘致は困難であることが明確となった。</p> <p>⇒民間資金等による事業化の可能性は低い。</p>

C・D	<p>道の駅の活性化や拡張など、島崎公園と連携した事業運営を想定してヒアリングを実施した結果、施設を拡張することで、客数や売上高ともに大幅増を目指せるとの意見があり、他の道の駅との比較でもその実現性が高いことが分かった。</p> <p>道の駅の運営に4社が興味を示しており、その中には全国で多数の道の駅を運営する事業者もあり、そうした事業者が当該道の駅の運営に携わりたいとの意向を示したことは大きな収穫である。ただし、施設の拡張に当たっては、公費負担で設計・施工し、民間が施設運営を行う、指定管理、もしくはDBO方式なら非常に興味があり、売上の一部を市に還元するスキームが可能との意見であった。</p> <p>また、道の駅内の大型駐車場部分は、国道沿いで立地条件が良いことから、飲食店の誘致を想定してヒアリングを実施したが、現状のままでは「新規出店は難しい」「判断ができない」等の意見が多く得られた。一方で、立地は魅力的で、周辺が賑わってくれば検討したいとの意見が複数あった。</p> <p>⇒公設民営による道の駅の拡充であれば事業化の可能性は高い。</p>
-----	--

2. エリア活性化の方向性について

上記の事業化の可能性を踏まえた現時点で想定されるエリア活性化の方向性は、以下のとおり。

エリア	エリア活性化の方向性〔現時点の想定〕
A	C・D エリアの活性化と並行して、引き続き企業誘致を進めるため、公募条件等の検討を進めるとともに、海が見える好立地の全容がわかるように既存建物の解体及び整地を行うことも併せて検討する。
B	民間資金等による事業化の可能性は低いと見られ、今後は、公共施設としての利活用を検討する。
C・D	<p>まずは、C・D エリアでの道の駅の拡張に優先して着手し、エリア全体の賑わいを創出する起爆剤とする。</p> <p>事業化に向けては、公設民営のDBO方式等による施設の拡張を検討する。</p>

3. 今後の進め方

上記の「2. エリア活性化の方向性」については、民間意向に基づく事業化の可能性を踏まえた内容であるが、今後、市が事業化の判断を行うに当たり、有識者等による検討会議を立ち上げ、市民意向も把握した上で、事業化に向けたエリア毎の活性化方針を策定する。

◆有識者等による検討会議での検討事項

- ・エリア活性化の方向性の検証
- ・エリア毎の活性化方針（基本方針、具体的な取り組み、事業効果等）の検討
- ・事業化に向けたスケジュール

※市民意向の把握（アンケート等）

島崎・浜町ウォーターフロントエリア民間資金等活用事業可能性調査〔ヒアリング結果〕

◆ヒアリング期間 令和5年5月10日～令和6年1月10日

◆ヒアリング方法 受託コンサルタントによる面談、電話、メール等

◆ヒアリング項目 興味度・可能性、参入するための条件等、民間収益事業での事業提案、想定される開発規模・用途等

◆ヒアリング前に想定した市のエリア活性化方針とヒアリング先の業種

エリア	市の活性化方針（ヒアリング前の想定）	ヒアリング先の業種
A	未利用公的不動産を現状有姿で売却又は定期借地（解体費用は市負担）することで、C・Dエリアからの賑わいを波及する観光集客施設や、生活利便性を活かした移住定住に資する施設を誘致。	主にホテル・レジャー、不動産・建築、福祉施設、アウトドア・レジャー、
B	文化ホールは市民文化施設として維持。その他の中央公民館や歴史資料館部分について、建物賃貸借等により民間収益施設を誘致。Aエリア又はC・Dエリアと親和性の高い施設など。	主に施設運営管理
C・D	道の駅は、国道の通行量も多く、立地条件は非常に良いことから、更なる集客に向けた、道の駅の活性化や拡張など。 島崎公園は、「P-PFI 制度」や「設置管理許可制度」の活用による集客施設の誘致。 C・Dエリアの連携した事業運営で、新たな賑わいの創出。	主に施設運営管理、飲食

◆ヒアリング結果〔興味度・可能性に関する集計〕

【エリア別】

	Aエリア	Bエリア	C・Dエリア	合計
◎出店意向あり	-	-	3	3
○前向き検討	-	-	1	1
△可能性あり	3	-	1	4
▲可能性低い	9	2	8	19
×可能性なし	66	-	30	96
合計	78	2	43	123

【業種別】

	ホテル レジャー	不動産 ・建築	福祉 施設	アウトドア レジャー	施設運営 管理	飲食	その他	合計
◎出店意向あり	-	-	-	-	3	-	-	3
○前向き検討	-	-	-	-	1	-	-	1
△可能性あり	1	1	-	-	-	1	1	4
▲可能性低い	4	2	-	3	2	8	-	19
×可能性なし	33	18	7	4	2	27	5	96
合計	38	21	7	7	8	36	6	123

※複数業種の企業の場合は、主たる業種にてカウント。

◆ヒアリング結果〔主な評価点・課題点〕

【Aエリア】

ホテル・レジヤ	<p>【評価点】・天橋立から近く観光立地としては魅力的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設を開発するには好立地。 ・新規開発の想定地として以前から検討をしていたエリア。 <p>【課題点】・市内の既存宿泊施設の稼働率はそれほど高くない印象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築費が高騰する中、既存建物の杭などを考えると、かなりの建築コスト増となってしまう、設計上の制約も多くなると思われる。 ・観光要素が強く、ビジネス客の利用が見込み辛い印象。 ・周辺エリアの観光地としての賑わい不足を懸念。エリア内に観光客の留まる要素が少なく、賑わいが少ないとの印象。 ・C・Dエリアを始め、エリア一帯がどう賑わっていくか、それ次第で判断をしたいとの意見が複数ある。
不動産・建築	<p>【評価点】・景観良好で立地としては魅力的であるとの評価。</p> <p>【課題点】・海に面しているため、住宅地としては塩害や津波、液状化などのリスクを懸念。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中途半端な規模だと失敗するケースが多いため、ある程度の規模で集客を図ることが必要。 ・周辺に賑わいができてからでないと投資判断が難しい。 ・他の自治体などと比較をすると地代が高い。 ・建築コストを考えると、事業として成立させるのが難しいとの判断。
福祉施設	<p>【課題点】・リゾート立地ではあるが、投資リスクが高く優先度の低いエリア。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物オーナーがいれば興味のある立地。
アウトドア・レジャー	<p>【評価点】・キャンプ用地として立地や周辺環境はよい印象。</p> <p>【課題点】・面積が狭く検討基準を満たしていない。</p>

【Bエリア】

施設運営管理	<p>【課題点】・既存施設への民間投資リスク等の懸念。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な指定管理費用であれば検討可能だが、現在の状況で収益を更に向上させるのは困難。
--------	--

【C・Dエリア】

施設運営管理	<p>【評価点】・道の駅は増床など拡張の余地があると思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の道の駅と比較しても非常にポテンシャルが高く、施設を拡張することで、客数、売上高ともに大幅増を目指せる。延べ床面積 1,500 m²程度、最低でも 1,000 m²を希望。 ・施設の拡張は、公費負担で建築し民間が設計段階から関与できる指定管理、もしくは DBO 方式なら非常に興味あり。売上の一部を市に還元するスキームが可能。 ・公園部分も道の駅とセットであれば興味がある。 ・B～D エリア、更にミップル内の図書館などの機能も併せ指定管理することも可能。 ・道の駅やその周辺エリアも含めた賑わい創出には非常に賛同できる。 <p>【課題点】・立地が良い割に規模が小さく、「道の駅」と認識されにくい印象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園部分には、既存の多目的グラウンドなど制限のあるエリアも多く、公園単体で収益を上げるのは難しい。
飲食	<p>【評価点】・大型駐車場部分は、天橋立から近く道路通行量も多いため立地としては魅力的ある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FC の受け手となる企業ができれば可能性あり。 <p>【課題点】・足元人口が少なく、ターゲットとする層も少ない点が気になるところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺開発が行われ、来街者が増加したタイミングで検討したい。 ・出店戦略上のエリアから外れてしまっている状況。 ・建築費や人件費、原材料費などの高騰で、新規出店が検討し辛くなっている。